

星空 観望会

毎週土曜日

受付時間 午後7時～9時

場所：西合志図書館天文台

参加費無料

※雨天・曇天の場合中止します。

来館前に電話でご確認ください。

(西合志図書館 ☎242-5555)

☆自宅で観る1月の星空☆

今年は、ガリレオ・ガリレイが望遠鏡を天に向けてから400年になることを記念する「世界天文年」です。

南東の空にはオリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンを結ぶ冬の三大角が見えます。

天頂付近にはぎょしゃ座のカペラが輝いています。

ぎょしゃ座は5つの星がきれいな五角形をしていてよく目立ちます。

図書館掲示板

★西合志図書館

○マインドシアター(入場無料)

と き 1月24日(土) 午後1時～

ところ 西合志図書館「集会室」

題 名 『トムとジェリー テイルズ2』

○おはなし会(入場無料)

と き 午後2時～

1月10・11・17・18・25・31日

2月1・7・8・14・15・21・22日

ところ 西合志図書館「おはなしの部屋」

★合志図書館

○ふれあい映写会(入場無料)

と き 1月18日(日) 午後1時30分～

ところ 「多目的研修室」合志図書館よこ

題 名 『ちびまる子ちゃん傑作選

～まる子、年の初めの運だめし～』

○ふれあいおはなし会(入場無料)

と き 午後2時30分～

1月10・17・24・31日

2月7・14・21・28日

ところ 合志図書館「おはなしコーナー」

第2回ふれあい読書講座

と き 1月21日(水)
午後2時～(2時間程度)

ところ 西合志図書館 集会室

講 師 星永 文夫さん
(俳誌「霽霽」主宰)

題 名 横山 秀夫 作『半落ち』

対 象 合志市在住、または図書館利用者

参加費 無料

申し込み・問い合わせ先 西合志図書館

親子ふれあい講座

親子で一緒に絵本に出てくるゾウを作ります。
感動を共有し、読書をする楽しさを味わいましょう！

と き 1月25日(日) 午前10時～(2時間程度)

ところ ヴィーブル2階 工芸室

講 師 合志図書館職員

内 容 絵本に出てくる“ゾウ”を段ボールで作製。
(23cm×15cm×12cm)

対 象 合志市在住の親子など

持ってくるもの

はさみ、カッター、作品を持ち帰る入れ物

参加費 無料

申し込み・問い合わせ先 合志図書館

1・2月の休館日

【毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日が休館)、
毎月末日(末日が土・日・祝日の場合は開館)】

1月13日(火)・19日(月)・26日(月)

2月2日(月)・9日(月)・16日(月)・23日(月)

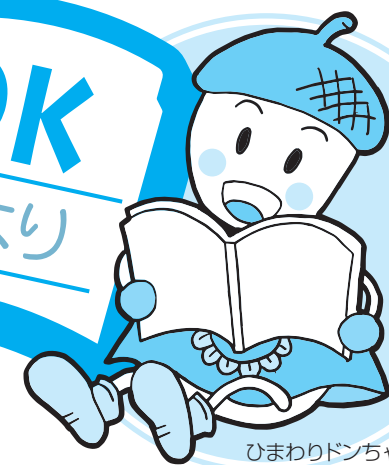
移動図書館車

「ひまわり ドンちゃん号」巡回

現在、合生・須屋・野々島・上生を巡回しています。年間巡回予定表は西合志図書館・移動図書館車にあります。

BOOK

図書館だより



ひまわりドンちゃん

西合志図書館 (☎242-5555)
合志図書館 (☎248-5754)

『イノセント・ゲリラの祝祭』

海堂 尊 著

映画化・ドラマ化され話題の「チーム・バチスタの栄光」シリーズ最新刊。現代医療が抱える問題、厚生労働省のあり方を医者である著者の意見を織り込みながら物語は進みます。これまでの作品に比べ、ミステリー色が薄いという感じはしますが、個性の強いキャラクターや細かな設定の世界観は健在。

出来ればシリーズ1巻から読むことをおすすめします。



『細川家の700年永青文庫の至宝』

細川 護熙 著

足利幕府の名宰相「細川頼之」、悲劇の女性「細川ガラシャ」、そして元首相にして陶芸家でもある「細川護熙」。中世から現代まで、波乱万丈の700年を生き抜いた細川家の歴史とコレクションを紹介した本。写真を多く使い、とても読みやすい一冊です。この本を熟読し、熊本県立美術館永青文庫展示室へも足を運んでみませんか？



新刊お薦め本

新 着 本

一般書

聖女の救済
ガリレオの苦悩
アイスクリン強し
夜の光
綺麗な生活
楊令伝 7
ロードムービー
寂聴と読む源氏物語
ガーゴイルへ転生する炎の愛～
右岸
左岸
とんび
モニタールーム
彼女について
政治経済より人間力
克己心

東野 圭吾
東野 圭吾
畠中 恵
坂木 司
林 真理子
北方 謙三
辻村 深月
瀬戸内 寂聴
アンドリュ・デビッドソン
辻 仁成
江國 香織
重松 清
山田 悠介
吉本 ばなな
上坂 冬子
宇津井 健

変わる世界で日本はこうなる！ 竹村 健一
金持ち父さんのファイナンシャルIQ ロバート・キヨサキ
10年後あなたの本棚に残るビジネス書100 神田 昌典
寛容力 渡辺 久信

児童書

そいつの名前はエメラルド 竹下 文子
土曜日の妖精シエナ デイジー・メドウズ
冬ものがたり 野上 暁
ダジャレなぞなぞ1年生 小野寺 びりり
黒薔薇姫と7人の従者たち 藤咲 あゆな
わたしは海獣のお医者さん 勝俣 悦子
てぶくろがいっぱい(絵本) フローレンス・スロポドキン
いろいきてる！(絵本) 谷川 俊太郎
どこどこ？セブン10(絵本)
アンジェリーナはスケーター(絵本) キャサリン・ホラバード
アネッタ、すべった！(紙芝居) 野坂 悦子



『直江兼続の義と愛』 火坂 雅志 著

2009年のNHK大河ドラマ「天地人」。その原作者が描く主人公・直江兼続とそれをめぐる人々の義と愛の精神は、現代社会にこそ強く訴えかけるものであり、ドラマを観るにも原作を読むにも最適な副読本です。

直江兼続は、安土桃山時代の武将で上杉景勝に仕え、名家宰として知られ

る人物。関が原合戦では秀吉への恩義に報いるため、西軍方に与して敗れるも、残りの半生をかけて地方の領地経営に優れた手腕を発揮したことで知られています。

「天地人」の原作本やゆかりの地を旅する本など、大河ドラマファン必読本もたくさん所蔵しています。

今“旬”の本

市立図書館のホームページで、蔵書の検索ができます <http://koshi-library.coda.ne.jp/>